

漁労作業の安全性向上および作業付加軽減策の検討 —動揺する甲板上での漁労作業の動作研究—

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産大学校 公開日: 2025-01-14 キーワード: 作成者: 川崎, 潤二, 下川, 伸也, 浜口, 正人 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012643

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



漁労作業の安全性向上および 作業負荷軽減策の検討

—動揺する甲板上での漁労作業の動作研究—

海洋生産管理学科 川崎 潤二・下川 伸也・濱口 正人

●研究の目的

漁労作業中の災害事故防止や、作業者の身体的負担軽減のために、人間工学的手法を用いて、作業甲板の整備、漁具・漁労装置の改良など、具体的な改善策を見出すことを目的としています。

●研究の成果と水産業等への貢献の期待

これまでの研究成果として、漁船甲板上での漁労作業を対象とした3次元画像解析により、動作速度や動作の特徴を分析し、安全性及び作業負荷を指標化することが出来ました。安全性向上、快適性を持った作業環境の追求という観点から、今後の漁業就業者の確保、漁業経営の安定化に貢献します。

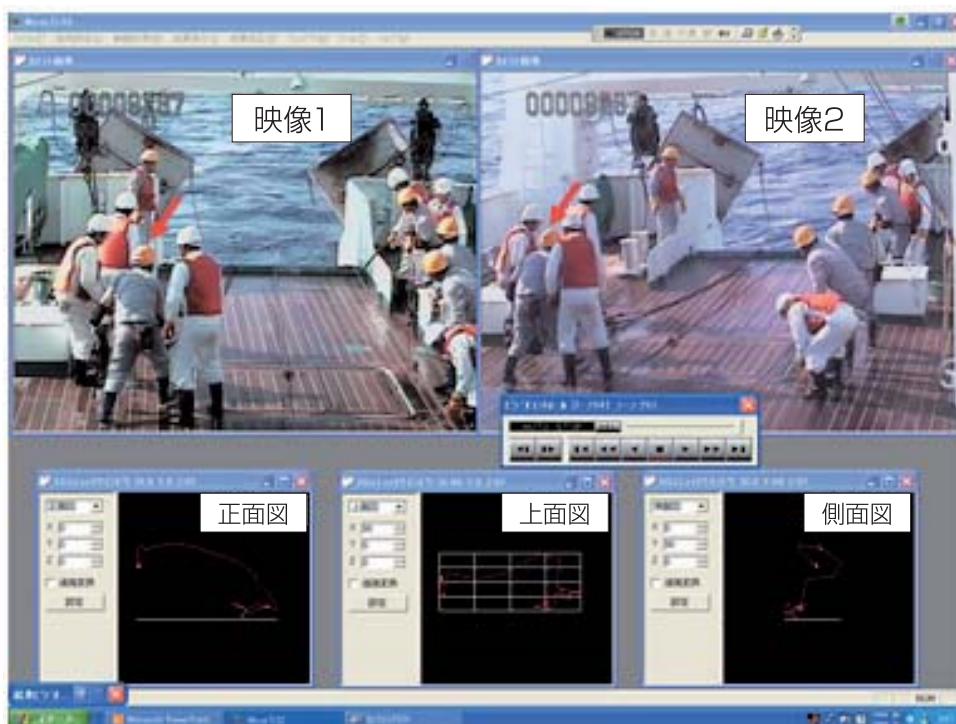


図) 水産大学校練習船天鷹丸トロール操業を対象とした動作分析

※左右2台のカメラで作業甲板を同時撮影し(映像1、映像2)、作業者のヘルメットを対象に、位置座標を3次元で表示(赤い軌跡)しています。映像は揚網時、オッターペンネットのGフックを8型リングから外す、約8秒間の動作。

【参考文献】

- 1)川崎 潤二 ほか:小型機船底曳網漁船における作業性に関する研究,人間工学,36(特別号),180-181(2000).
- 2)川崎 潤二 ほか:トロール操業における漁労作業の動作分析,日本水産工学会学術講演会講演論文集,167-170(2003).